

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	既存ストックを有効に活用した効率的な踏切対策に関する検討経費		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	街路交通施設課		課長 西植 博		
会計区分	一般会計		施策名	8-32 道路交通の円滑化を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	開かずの踏切などに対して、低投資で早期に効果を発現させるため、踏切遮断時間表示システムの高度化や駅構内通路等の活用に関する検討を行い、既存ストックを活用した効率的な踏切対策を推進し、踏切利用者の安全な歩行者空間の確保を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	開かずの踏切などに対して、低投資で早期に効果を発現させる対策として、踏切遮断時間予測を活用した遮断時間表示システムの高度化や、踏切に隣接する駅の構内通路を迂回路として活用するための効果的手法に関して検討を行い、運用面の検討を行うとともに、地方自治体が参考として利用できる条件、基準、手順等に関する導入マニュアルの策定に係る資料を作成。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	58	13	-	-	
		補正予算	-	0	0	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	58	13	-	-	
	執行額	-	58	12	-	-		
	執行率 (%)	-	99.6%	97.9%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	踏切利用者の安全な歩行者空間の確保		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	既存ストックを有効に活用した効率的な踏切対策の導入マニュアルの策定		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	
単位当たり コスト	-		算出根拠					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	該当なし	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・踏切道における事故は、過去5年間では、全国で約340件/年発生しており、国民の関心が高い
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・企画競争方式により競争性を確保
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・導入マニュアルの作成に向けた資料を作成
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・開かずの踏切などに対して、低投資で早期に効果を発現させる対策として、踏切遮断時間予測を活用した遮断時間表示システムの高度化や、踏切に隣接する駅の構内通路を迂回路として活用するための効果的手法に関して検討を行い、地方公共団体が参考として利用できる条件、基準、手順等に関する導入マニュアルの策定に係る資料を作成。</p> <p>・今後は、関係各所と調整をしつつ、導入マニュアルの作成、周知を実施し、鉄道事業者や地方公共団体による踏切対策を推進。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	平成23年度をもって事業廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	217

国土交通省
13百万円

既存ストックを活用した効率的な踏切対策を推進

【企画競争】

A.(財)国土技術研究センター
(2社)
12百万円

踏切遮断時間予測を活用した遮断時間表示システムの高度化や、踏切に隣接する駅の構内通路を迂回路として活用するための効果的手法に関する検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(財)国土技術研究センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	駅構内通路等の既存ストックを有効に活用した効率的な踏切対策の導入方策策定業務	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国土技術研究センター	駅構内通路等の既存ストックを有効に活用した効率的な踏切対策の導入方策策定業務	12	随意契約 (企画競争)	97.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					